

平成20年2月29日  
三善製紙株式会社  
代表取締役社長  
廣松 信孝

## 地球環境保全・社会貢献の取組について

今般の古紙配合率乖離問題につきましては、その調査内容等を2月20日に関係官庁並びに、弊社ホームページにご報告させていただきましたが、消費者、取引先をはじめ、関係各位そして社会に対し多大のご迷惑をお掛けいたしまして誠に申し訳ございませんでした。

弊社では、当該製品の生産中止、出荷差し止めをしておりましたが、顧客先と協議の上対応を進めさせていただいております。今後は、再発防止のため内部統制・コンプライアンス制度の組織体制をつくり内部監査とともに外部からの担保システム（検討中）を併用し品質保証制度を構築してゆく所存です。

このような事態を招来したことを深く反省するとともに この教訓を生かし循環型社会を構築することへの意義に深く思いを致し、その促進に寄与するとともに信頼の早期回復を図ってまいります。この度、『古紙パルプ配合率未達成の問題に対するお詫び（声明）』にあります環境保全のための目に見える追加社会貢献活動に当社も参加することを表明いたしました。以下、弊社独自の環境貢献、社会貢献などを検討し、進めてまいる所存でございますので何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

### 記

#### <三善製紙 独自の社会貢献>

1. 古紙利用の促進
  - ・古紙利用技術の向上並びに品質への影響再確認
2. 国内（石川県）森林整備への積極的取組
  - ・地球温暖化対策の一環として石川県が2008年度計画する「企業の森二酸化炭素吸収認定証」制度に応募し、企業の社会貢献活動「森林整備」へ参画することを検討する
3. グラウンドワーク活動の推進
  - ・環境美化（地域清掃、排水溝清掃）活動への従業員の参加
  - ・古紙分別回収活動への従業員の参加
4. 環境教育の拡充
  - ・環境講演会、講習会への参加促進
  - ・ISO14001のマネジメントシステムの見直し、自覚教育の再実施

以上